

3次選定評価項目(案)

No	評価項目	評価の考え方	評価する事項、評価基準	点数
1. 自然環境の保全				
1	放流先の状況	水利権及び漁業権がないことが望ましい。 上水として利用されていないことが望ましい。 類型指定されていないことが望ましい。	【評価事項】放流先の権利等指定状況 指定はされていない。 1件の指定がある。 2件以上の指定がある。	5点 3点 1点
2	植生自然度	現状の自然を開発することなく、施設を整備することが望ましい。	【評価事項】候補地内の植生自然度 候補地内の植生自然度：1～6 候補地内の植生自然度：7～8 候補地内の植生自然度：9～10	5点 3点 1点
1. 自然環境の保全の得点				
2. 土地利用				
3	現況土地利用状況	現況の土地利用方法について、特段の利用はされていない地域が望ましい。	【評価事項】現況土地利用状況 特段の利用はされていない。 一部農地等として利用されている。 農地等として利用されている。	5点 3点 1点
4	地形・地質	地形はできるだけ平坦であることが望ましい。 地質は、できるだけ強固であることが望ましい。	【評価事項】地形、地質に係る懸念事項 懸念される事項はない。 地形、地質の一部に懸念される事項がある。 地形及び地質に懸念される事項がある。	5点 3点 1点
5	地歴	過去に工場や処理場等の建設履歴等がなく、埋設物や土壌汚染等の可能性が低いことが望ましい。	【評価事項】地歴 懸念される事項はない。 敷地の一部に懸念される事項がある。 敷地の大部分に懸念される事項がある。	5点 3点 1点
6	その他 (地下埋設物)	施設建設において、地下埋設物の影響がないことが望ましい。	【評価事項】地下埋設物の通過有無 地下埋設物が通過していない。 地下埋設物が通過しているが、施工に影響はない。 地下埋設物が通過しており、施工に影響がある、あるいは敷設替えが必要となる。	5点 3点 1点
2. 土地利用の得点				
3. 防災面				
7	水害想定	市の防災マップの水害想定地域でないことが望ましい。	【評価事項】治水対策 候補地及び候補地周辺が水害想定地域でない。 候補地が水害想定地域でない。 水害想定地域である。	5点 3点 1点
8	液状化想定	液状化による影響が少ないことが望ましい。	【評価事項】液状化の可能性 液状化の可能性はほぼない。 液状化の可能性がややある。 液状化の可能性が高い。	5点 3点 1点
3. 防災面の得点				

No	評価項目	評価の考え方	評価する事項、評価基準	点数
4. 周辺環境の保全				
9	候補地中心から周辺自治体までの距離	候補地中心から周辺自治体までの距離が長いことが望ましい。	【評価事項】候補地中心から周辺の自治体までの距離 相対的に長い。(2km以上) 相対的に中間。(1km以上2km未満) 相対的に短い。(1km未満)	5点 3点 1点
10	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離	候補地の端から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離が長いことが望ましい。	【評価事項】候補地の端から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離 相対的に長い。(1km以上) 相対的に中間。(0.1km以上1km未満) 相対的に短い。(該当無し) ※2次選定抽出条件の0.1kmを3点、最長距離(2km)を5点として得点化	5点 3点 1点
11	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数	候補地中心から一定距離にある範囲内にある文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数が少ないことが望ましい。	【評価事項】一定距離(1km)の範囲円の中にある施設等の件数 少ない。(5件未満) 中間。(5件以上10件未満) 多い。(10件以上)	5点 3点 1点
12	同一路線への車両集中	バキューム車が施設へ搬入する際に、同一路線ではなく、複数の路線からアクセスすることが望ましい。	【評価事項】同一路線への車両集中の可能性 3方向以上からの搬入となり、車両集中が少ない。 2方向からの搬入となり、車両集中がやや懸念される。 1方向からの搬入となり、車両集中が懸念される。	5点 3点 1点
13	緩衝帯として山林、河川等が利用可能な地域	周辺地区との緩衝帯として、山林、河川等が利用可能な地域が望ましい。	【評価事項】緩衝帯として利用可能な面数 緩衝帯として2面以上が利用可能である。 緩衝帯として1面が利用可能である。 緩衝帯として利用可能な面が1面もない。	5点 3点 1点
14	観光地	観光地からの距離が長いことが望ましい。	【評価事項】観光地(道の駅)からの距離 2km以上 1km以上2km未満 1km未満	5点 3点 1点
15	日照障害等の影響	施設が建設されても日照障害等の影響がないことが望ましい。	【評価事項】日照障害による影響 影響はほぼない。 一部影響が考えられる(一部地域又は一部季節)。 影響が考えられる。	5点 3点 1点
16	埋蔵文化財との距離	埋蔵文化財からの距離が長いことが望ましい。	【評価事項】埋蔵文化財までの距離 相対的に長い。(450m以上) 相対的に中間。(100m以上450m未満) 相対的に短い。(100m未満) ※十分距離が確保できる100mを3点、最長距離(450m)を5点として得点化	5点 3点 1点
4. 周辺環境の保全の得点				
5. 社会条件				
17	インフラ整備状況(上水、電気)	候補地周辺のインフラ整備状況が良好であることが望ましい。	【評価事項】候補地周辺における上水、電気の整備状況 上水及び電気の整備状況が優れている。 上水又は電気の整備状況が優れている。 上水及び電気の整備状況ともに劣る。	5点 3点 1点
18	騒音、振動、悪臭規制	騒音、振動、悪臭に係る規制がかけられていないことが望ましい。	【評価事項】騒音、振動、悪臭規制状況 騒音、振動、悪臭いずれも規制がかけられていない。 1項目あるいは2項目の規制がかけられている。 騒音、振動、悪臭いずれも規制がかけられている。	5点 3点 1点
5. 社会条件の得点				

No	評価項目	評価の考え方	評価する事項、評価基準	点数
6. 用地取得				
19	地権者の人数	地権者の人数は少ないことが望ましい。	【評価事項】地権者の人数 少ない。(10人未満) 中間。(10人以上20人未満) 多い。(20人以上)	5点 3点 1点
20	土地の権利関係	抵当権、仮登記等の設定が少ないことが望ましい。	【評価事項】土地の権利関係が設定されている土地(筆)の数 少ない。(5筆未満) 中間。(5筆以上10筆未満) 多い。(10筆以上)	5点 3点 1点
6. 用地取得の得点				
7. 経済性				
21	収集運搬効率及び経済性 (収集車による二酸化炭素排出量)	収集運搬効率がよく経済性に優れることが望ましい。	【評価事項】収集運搬経費(二酸化炭素は経費に比例) 収集運搬コストが最も安価である。 収集運搬コストが2番目以降である。 ※算出方法 各候補地について収集運搬総コストを算出し、以下の式で点数をつける。 各候補地の点数=5点×最も安い候補地の運搬コスト÷各候補地の運搬コスト (結果の点数を四捨五入して整数化)	5点 5点× 最安地/ 候補地
22	事業費 (用地取得費、造成費、施設建設費、維持管理費(20年間)、道路設置(整備)費、インフラ整備費)	事業費が安価で経済性に優れることが望ましい。	【評価事項】(用地取得費、造成費、施設建設費、維持管理費(20年間)、道路整備費、インフラ整備費) 事業費が最も安価である。 事業費が2番目以降である。 ※算出方法 各候補地について事業費を算出し、以下の式で点数をつける。 各候補地の点数=5点×最も安い候補地の事業費÷各候補地の事業費 (結果の点数を四捨五入して整数化) →なお、施設建設費及び維持管理費は各候補地とも同額とする。	5点 5点× 最安地/ 候補地
7. 経済性の得点				

大項目	配点/候補地
1. 自然環境の保全	10点満点
2. 土地利用	20点満点
3. 防災面	10点満点
4. 周辺環境の保全	40点満点
5. 社会条件	10点満点
6. 用地取得	10点満点
7. 経済性	10点満点
合計	110点満点
順位	